

令和7年度「IRビジネスセミナー」(第3回) 質疑応答要旨

(質問者1)

姜先生、ありがとうございました。

大阪IRができた場合についての、観光のどうのこうのなるんですけども、それに対してファミリーがついてきて、観光のことを考えた方がいいのか、IRに来た人だけを考えた方がいいのか、なんか今回はファミリーも入っているのかなと思って、それだけちょっと聞きたいと思います。

(回答者：講師)

今のご質問は、観光という観点からの、IRに来られる目的のお話かと思えます。IRに来られる目的がカジノのみなのか、多くのファミリー層も来られることを意識するのかということですね。

多様な方々が観光で来られます。カップルであったり、友達とであったり、ファミリーの旅行先として大阪を選ぶこともあります。近年の傾向として、カジノが目的ではなく、家族と一緒に華やかな都市を楽しむためにラスベガスへ行ったりするので、おそらくIRは、カジノを主な目的とするVIP層の領域からマス化しているのではと思います。

私もマカオに行くと、カジノではそれほどお金を使わず、カジノ内の雰囲気や、様々なホテルのデザインを楽しんでいます。

(質問者2)

医療ツーリズムの事業を運営しております。本日は詳細なご説明をいただきありがとうございました。

資料1の12ページのところなんですけども、こちらに懸念事項の対策として、ギャンブル依存症ですとか、治安についての対策のご説明がありました。医療についてはいかがでしょうか。この資料では、年間600万人の外国人の来訪を予想されていると記載がございました。一方で、大阪IRというのは立地がですね、夢洲という立地で開業となりますので、例えば地震のときの液状化リスクですとか、救急搬送のときの医療機関への距離の長さですとか、あと外国人の比率の高さというところなど、特殊な条件が重なるかと思えます。現在、医療のインフラの構築についてどのような準備が進んでいるのか、お聞きできればと思います。

(回答者：職員)

まず、夢洲内への新たな消防拠点設置に向けた取組を進めており、緊急時・災害時における急病人等の応急処置や救急病院への搬送などが可能となります。また、救急搬送については、IR区域周辺にあります5ヶ所の救急病院等との連携体制構築を現在想定しており、大阪府健康医療部とも連携しながら、今後、検討を進めてまいりたいと考えております。

(質問者3)

大阪府のある部署の方から、この1月から3月までの間に、第2期区域の事業者募集ですね、それに関するパブリックコメント。これを求めますと。その具体的な時期、決まってきましたか。いつ頃になりますか。

(回答者：職員)

I R推進局の所管ではないため、具体的なことはお答えし兼ねますが、今年春頃の「夢洲第2期区域マスタープラン Ver. 3.0」の策定に向けて取組を進めていると聞いております。

(追加質問)

1月は難しいという感じでしょうか。2月、3月頭ぐらいになるというような感じでしょうか。

(回答者：職員)

部署が異なるため、詳細はお答えし兼ねますが、適宜、ホームページ等で公表されるものと認識しております。

(質問者4)

いろいろとご説明ありがとうございました。

私からは資料1の11ページ、1から7の取組をですね、効率かつ効果的に行うためには、仕組みが必要だと考えております。こういった取組についてのプラットフォーム等の検討はされているのでしょうか。また、プラットフォームを作るにあたってはどのような時期になるのか。また、プラットフォームの運営についてはどこが主体になるのか。あるかどうかも含めてですね、ハンドリングがあるかどうかも含めて、ある場合はどこが主体になるのか。それと、大阪府・大阪市の関わり方、立ち位置についてご教示いただけたらありがたいと思います。

(回答者：職員)

地域経済の振興・地域社会への貢献に係るご質問につきまして、I Rは民設民営の事業であり、基本的にI R事業者により調達することになりますので、今後、その検討が進められるものと認識しております。

I R事業の運営はI R事業者により行われますが、大阪府・市としては、事業の運営等が区域整備計画に沿ったものとなっているかなどのモニタリング等を実施していくこととなります。

(質問者5)

貴重なお話ありがとうございます。このプロポーザルが出るタイミングというのはまだわからないと思うんですけども、基本的にはこの開発事業者が決まったところが全てこの内容を決めていくっていうことでよろしかったでしょうかね。

例えばこれまでの万博に関わってきたプロデューサーが関わるとか、いろんな団体等が関わるっていうことは、また別の話というふうに考えてよろしいでしょうか。

(回答者：職員)

I Rは民設民営の事業ですので、I R事業者により運営していくこととなります。また、大阪・関西万博跡地とI R区域は隣接しておりますが、I R事業者は区域整備計画に則って事業を進めていくものであり、5年後の開業に向けて検討していくものだと認識しております。